

一宮 9 条の会がシール投票を行う

5月4日、真清田神社を中心にして行われた杜の宮市に、一宮市民活動支援センターの9つの登録団体のうちの1つとして私たちは「9条の店」がもうやいこしてブースに出展し、「9条を守るか、変えるか」「武器輸出に反対か賛成か」「敵基地攻撃に反対か賛成か」の3種類のシール投票を行いました。投票の結果は以下の通りです。

<シール投票> 「憲法9条を守るか、変えるか」

| | 守るべき | 変えるべき | わからない | 計 |
|--------|------|-------|-------|-----|
| 60才以上 | 89 | 2 | 0 | 91 |
| 30~59才 | 57 | 10 | 2 | 69 |
| 29才以下 | 55 | 4 | 8 | 67 |
| 計 | 201 | 16 | 10 | 227 |

「武器輸出に 反対か賛成か」

| 反対 | 賛成 |
|-----|----|
| 165 | 7 |

「敵基地攻撃に 反対か賛成」

| 反対 | 賛成 |
|-----|----|
| 160 | 6 |

本町通はすごい人どおりでした。1枚に切ったシールを示しながら「9条を守るか変えるのシール投票を行っています」と呼びかけて行いました。シール投票に参加した人たちが、印象に残ったことです。

「僕は、不登校だったから9条のことを知らない」と言って、ボードに掲げてある9条の条文を読み、その通りだと言って「変えない」の方にシールを張ってくれました。小学生の二人連れは、9条の話を聞きながら、相談をして「わからない」の方にシールを貼っていました。

中年の二人連れの男性は、シールをもって「今のご時世ではやっぱり変えなければ、9条は理想だよ」と言って「変える」の方に貼っていきました。

「人間が人間を殺してはいけない。自分を壊すのと同じだから。癖になってはいけない。外国人を殺すことを許した国に、世界はどんなまなざしを向けるか」と言ってシールを変えないのほうに貼っていく30代の若者もいました。

「とっても大事なことだと言ってわざわざ記念写真を撮っていく女性も見えました。





午前中、シールを張りながら新聞のアンケート結果と「えらい違いだ」と言いながら、変えないのほうに貼っていく男性も見えました。

30歳代の男性が「9条を守るのは大事だと思うけど、今のご時世ではそんなことも言っておられない」と変えるの方に貼っていきました。

女子中学生が熱心に9条のこと、武器輸出のことを聞いてくれる姿も印象に残りました。

9条の全文をじっくり見て、「頑張ってください」と言って守るの方にシールを張ってくれた方もいました。皆さんご協力ありがとうございました。

会員が17名参加しました。